

ポイント

培った技術で、限りある資源を再び活かす。 付加価値の高い再生プラスチック製品の独自技術を開発

- 再生プラスチックなど廃材を活用した高付加価値商品を生み出すことに成功
- 新品と遜色無い高品質なリサイクル製品「リピーボード」は丈夫で直射日光に強く寿命が長い
- 他社製品もリサイクルする仕組みを考案

企業基本情報

所在地	神奈川県横浜市鶴見区佃野町 10-1 タクトホーム鶴見ビル 2F
電話/FAX	045-502-3052/045-502-3053
URL	http://www.oohasi.co.jp/jp/index.html
代表者	代表取締役 塩野 武男
設立	1970年
資本金	2,500万円
従業員数	33人



会社概要

創業以来培った多くのリサイクル技術を通じて、顧客の価値創造と社会貢献に取り組んでいる。絶縁被膜部分のポリエチレンを原料として加工し、再生プラスチック製敷板「リピーボード」を生産する独自技術を開発した。さらに付加価値の高い再生プラスチック製品を提供し、極力リサイクルすることをすすめ、産業廃棄物をゼロにすることを目標としている。お客様に商品ではなく、信頼を提供する顧客信頼創造企業として、豊かな社会づくりを目指している。



西沢工場

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 廃材を活用した高付加価値商品

同社は電線解体に長年取り組んできており、廃電線や撤去通信ケーブルの粉碎加工、銅・アルミ等の非鉄金属の回収のほか、被覆材をリサイクルした最終製品を生み出すことに成功した。再生プラスチック製敷板「リピーボード」等、品質の高いリサイクル製品という究極の高付加価値商品を提供している。また、原料としての電線被覆材が減少することに伴い、パイプ廃材など、他の高品質廃材をリサイクル原料に活用している。



騒音・振動試験時の様子

▶▶▶ 新品と遜色無い高品質なリサイクル製品

同社製品の「リピーボード」はリサイクル製品であるにもかかわらず、新品の材料を使った企業製品と遜色無いほどの純度を誇っている。それは原材料の使えるところを抽出し、他の原料と厳密な成分比で組み合わせることで、高品質を実現したためである。さらに「リピーボード」は丈夫なだけでなく、直射日光に強く寿命が長いことや、腐敗もしないことから洗浄が楽という利点がある。加えて、敷設に重機が不要なほどの軽量化により、運搬に伴うCO2削減にも成功している。



製品写真：リピーボード

▶▶▶ 他社製品もリサイクル

リサイクル材は売れば売れるほど材料不足に陥るというジレンマがある。しかし同社は、同社製品が廃棄される際に回収する仕組みを作り、持続的なビジネスモデルを実現した。廃材だけでなく他社製品もリサイクルする仕組みや、軽量化による輸送時の二酸化炭素排出量削減などが評価され、同社のプラスチック製敷板「リピーボード」はエコマークアワード2015で銀賞を受賞している。



180°の曲げ試験でも割れずに容易に元に戻ります！！

製品写真：リピーボードの耐久性